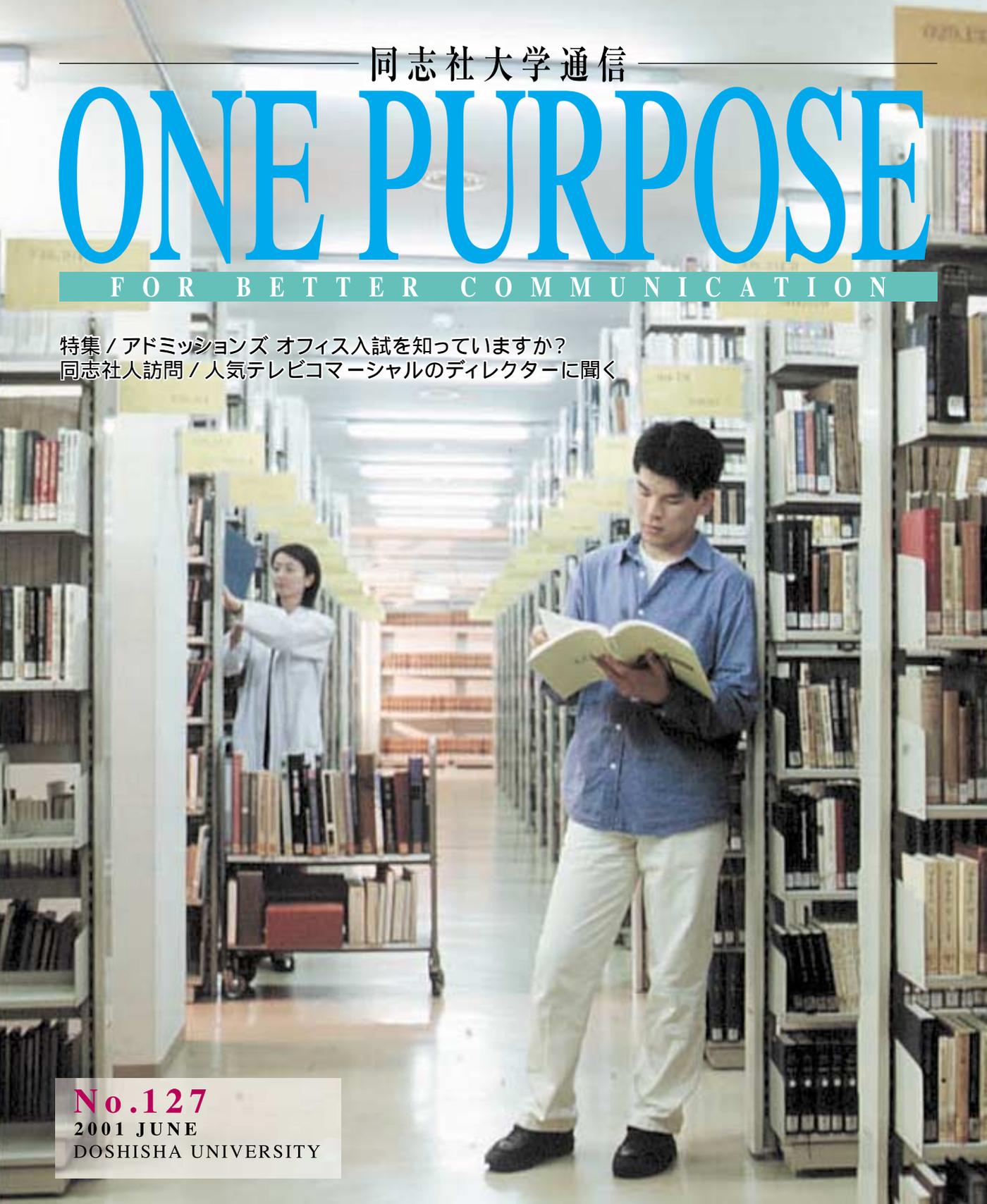


同志社大学通信

ONE PURPOSE

FOR BETTER COMMUNICATION

特集 / アドミッションズ オフィス入試を知っていますか？
同志社人訪問 / 人気テレビコマーシャルのディレクターに聞く



No.127

2001 JUNE

DOSHISHA UNIVERSITY



2001

NO.
127

JUNE

COVER STORY

[表紙の情景]



今出川図書館の3階と地階は、閉架書庫になっている。開架閲覧室の資料は自由に利用できるのに対し、閉架図書は入庫証が必要になる。といっても同志社大学の学生なら入庫説明会を受講すればその日に入庫証の発行を受けられる。閉架書庫の特長は収録図書の多さにある。図書40万冊、雑誌・新聞7千タイトルという収録数は、何ととっても魅力的。卒業論文をきっかけに利用しはじめたという原田禎夫さん(経済学研究科博士課程後期1年次生)は「地方財政を研究テーマにしているの、統計書や白書のデータを引用することが多く、閉架書庫をよく利用します」と語る。パソコンで目録を検索して、カウンターで借り出すことが多いそうだが、実際に書架に足を運んでみると、探していた図書の周辺に思わぬ貴重な資料を発見することもある。学術誌や雑誌のバックナンバーも揃っているの、レポートや論文作成には重宝だ。月～金曜日は、朝9時から夜10時まで開いているので、1年次生、2年次生も積極的に利用してほしい。

C O N T E N T S



特集

アドミッションズ オフィス
入試を知っていますか? 2

データで見る同大生の
2000年度就職戦線 7

ゼミ・ゼミ おじゃまします 法学部政治学科 村田 晃嗣ゼミ

現代社会を動かす
生きた国際外交を学ぶ 9

2001年度大学予算について 11



同志社人訪問 横田 真治さん
人気テレビコマーシャルの
ディレクターに聞く 13

キャンパスニュース 16

ONE PURPOSE コメンタリー 21

本学教員の推薦する VIDEO & BOOK 23

私と「仕事」 25

特集

アドミッションズオフィス入試を知っていますか？



「知りたいのは、単なる学力ではなく、あなたの個性、やる気、可能性です」。こんなキヤッチフレーズのアドミッションズ オフィス (AO) 方式の入試が始まって四年を経過した。第一期生はすでに最終年次を迎えており、学生生活についてさまざまな角度から語ってもらえる環境が整った。そこで今回は、AO入試で入学した四人に集まっていただけ、この制度と現在の学生生活について語り合ってもらった。

AO入試では、「こういう自分」をアピールした

小原 AO入試は、そもそも学力だけで受験生を評価してよいものだろうか？という反省から生まれた入試制度です。皆さんはその体験者ですから、まずこの制度についての感想からうかがってみたいと思います。

茂手木 僕は、本当に自分のためになる入試勉強をしようと思っていて、一般選抜入試のための勉強ではそれができないと思いました。しかし、大学で哲学・倫理学を学びたいという気持ちは強く持っていました。そんなとき同志社にAO方式の入試制度があることを知り、受験してみました。この入試

小原 AO入試は、同志社大学で学びたいという意思と自己アピールできるものを問う入試制度ですね。

茂手木 埼玉県出身なのですが、実家を離れて京都で学びたいとつねづね思っていました。同志社というより京都で学びたいという気持ちが強かったので、その旨、正直に伝えました。自分をアピールした点は、考えることが好きで、それを表現することに強い関心を持っているということですね。

岩瀬 私は、小さい頃からピアノとクラシックバレエをやってきました。決して傑出した才能があったわけではなく、「コツコツと練習に励んできました。その一方で知識工学というものに興味を持ちはじめ、大学で学ぶなら知識工学を」と決めていたのです。ところが高校の物理で、Bしかやらないものですか、受験にあたっては明らかにハンディキャップがあり、AO入試で受験しました。面接で、知識工学への情熱と、大学に入ったら必ず物理 を克服します」と強調したのを覚えています。



Profile

岩瀬 佳代子さん

【工学部知識工学科 三年次生】

身体が弱かったことを心配したお母さんが、クラシックバレエを勧めたのがきっかけで、小さい頃からバレエ学校に通う。「バレエは、毎日の練習が欠かせません。そこから学んだことは、コツコツ続けることの大切さ」だったという。やがて高校生になり、社会的弱者へのまなざしとコンピュータの可能性が岩瀬さんのイメージの中で結合、「知識工学」へのこだわりとなった。「まだ漠然としているのですが、人工知能あるいは視聴覚を持った車椅子、そんなものをつくってみたい」と夢を語る。

小原 表さんは、ラグビー部ですね。

表 高校三年生のとき、同志社大学ラグビー部の岡仁詩先生から同志社に「この制度があるけれど受けてみないか」と声をかけていただいた。受験しました。僕のアピールポイントは、中学から続けてきたラグビーです。入試の直前に大阪府の高校ラグビーチームの一人員として団体で優勝できたので、ちょっとよかったです。

小原 スポーツで自己アピールする場合、戦績そのものはあまり問われたいはずですよ。

岩瀬 私の場合は、クラシックバレエを続けてきましたが、コンクールに入賞したこともなく、バレエの公演に二度ほど参加したくらいです。芸入試とはまた違うのだと思います。

表 でも、私は「このことをやってきた」というだけでなく、「こういうことをやってきて、こういう成績を残しました」という方が評価されると思います。ただスポーツ推薦枠による入試と違うことは確かです。僕の面接のとき、ラグビーのことはひと言も聞かれ

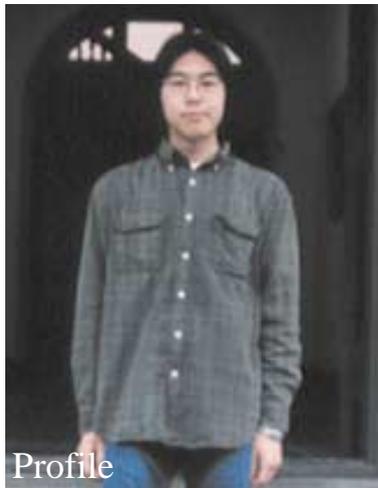


岩瀬 出願書類として五千字以上の文章を書くことになるから大変でした。同志社のAO入試のことを知ったのが高校三年の夏休みで、私は夏休みの一カ月を費やしてエッセイを仕上げました。高校が進学校だったので、学校側から、そんなことをされては困る、と言われたりもしました。でも自分を振り返るいいきっかけにならず、母親の助言を受けて



AO入試は、「楽な入試制度」なのか

なかった。あれには正直困りました。どうやって自分をアピールしたらいいかと。
藤田 どうアピールされたんですか。
藤田 文武両道でやってきたことを話しました。学校の成績もよかったです。大学に入っても、この文武両道を買きたいと思うと主張しました。
藤田 面接ではさすがだなと感じました。私は多分このようにことを聞かれるだろうと準備して臨んだのですが、まったく予想しなかった質問が飛び出すので、ついつい地が出て



Profile

茂手木 涼岳さん

【文学部文化学科哲学及倫理学専攻一年次生】

埼玉県、自由の森学園出身。自由の森学園は、中高一貫教育を実践するだけでなく、授業内容を社会に公開し、その評価や意見を学校運営に取り入れるという独自の教育方針をとる。茂手木さんは、その高校時代に学生が運営する公開教育研究会委員長を務めた。「当初は、教員が公開活動をやっていたが、やがて学生の手で行うようになりました。委員長というトップを決めるのはやめようという風にしてはいたのですが、事実上僕はそのまとめ役だったのです。主体的に学ぶという姿勢は、そうした環境の中で培われました」と語る。現在、授業の合間をぬって、何か触発される面白いことはないかと、京都の街を歩き回っているという。

自己分析もできたように思います。
表 自己紹介書は、すらすら書けるんですがエッセイはどういうタイトルで書くか悩み僕も父のアドバイスを受けました。
小原 文章を綴るといのは、文章力も要求されますが、やはり書きたい内容がないと数

しまいました笑。
小原 藤田さんは、AO入試の一期生ですね。出願書類は、もちろん今と同じですね。
藤田 自己紹介書と志望理由書、それにエッセイなどです。当時はAO入試を導入している大学が今ほど多くなく、同志社大学にこういう入試制度があると知ったのは、応募締め切りの一カ月前で、じっくり考えている時間のないまま大慌てで提出書類の準備をしました。ですから、皆さんのようにアピールできるものがなく、その時その時を、一生懸命

命生きてきましたというふうなことを書いたのを覚えています。
小原 一般選抜入試以上の競争率の中を突破されたのですから、審査員にアピールするものがあつたはずですよ。
藤田 どんな関心を持って生きてきたかを書きました。幼稚園で働いていた頃、ボランティア活動や電話相談員をしていた頃の経験をです。それから二十年ほど前から工業化社会がもたらす環境への影響について強い関心を持ってきたことも書きました。
千文字もの文章は書けません。そういう意味では皆さんは難しい試験をクリアしてきたといえます。皆さんご自身はこのAO入試制度をどう評価しますか。
藤田 AO入試はいい制度だと思えます。大学というのは専門的な領域を学ぶところですから。一般選抜入試は、それを学ぶための基礎学力を問うわけですが、基礎学力があってももう一歩踏み込んで主体的に学べる能力が



司 会

小原 克博

【神学部助教授】

あるかどうかが問われるわけではありませ
ん。一方、AO入試は、自分を見つめ、主体的
に取り組めるテーマを持っている人を選抜す
るわけですから、とんとん専門的な領域に
入っていけると思います。

岩瀬 学力評価で五点左右くらい足りなくても
勉強すれば取り戻せます。大事なところは、こ
で頑張らねばというときに、頑張れるかどう
か。それはモチベーションの差だと思つのです。
そしてAO入試が問つやる気、あるいはある
ことに打ち込んだ実績が、このモチベーション



にあたると思います。

茂手木 僕はクラスの中でいい意味で浮いて
いると思つています。人間的な意味でも、学
力的な意味でも、とくに英語がきついですね。
だつて受験勉強をしていないから英語はついで
に行けないのはある程度仕方ないと思つて
います。専門の勉強をしながら語学が身につ
いたらいいんですけどね。今は基礎ゼミが
はじまつて、面白くなりそう
なので期待しています。

藤田 私語学には苦勞し
ました。年齢的に若い人の三
倍の時間をかけないといつて
いけない。ただ長く生きてき
ただ分だけ、書かれている内容
は理解できるのでイーブンか
な。それよりも、一年次には
必修科目を中心に履修した
ため、自分の学びたい分野が
後まわしになりました。二年
次になり、ゼミで先生のアド
バイスを受けて今日までやつ



Profile

表 建二さん

【商学部 三年次生】

高校時代は、三年生で国体優勝を経験するなどラグビーで活躍。一般入試（スポーツ推薦）とAO入試の第二次審査日が重なつたため、AO入試を選択して同志社大学に入学。「AO入試では、ラグビーだけでなく、勉強面も含めて僕をトータルな面から評価してもらえた」と語る。文武両道がモットーで、「今はラグビーに集中していますが、四年間で学業とのバランスをとりたい」という。現在、ラグビー部でフッカーとして活躍。十九歳以下の日本代表にも選ばれた。

てこれだ、そんな気が
します。

小原 表さんは、文
武両道を目指してさ
れていましたが、両
立できていますか。
表 失敗しました
（笑）。ラグビーの方
は、十九歳以下の日
本代表にも選ばれる
など、充分頑張れた
と思つのですが、勉強の方は、彼が授業に出
ないのなら、僕も……と周りに流されてしま
つたり出ているんですよ。ただ今は関心がラ
グビー中心になつただけで。

藤田 AO入試で入つてきた人は、二つの可能
性を持っていると思います。一つは、自分がや
つてきたこと、やりたかつたことを追求するこ
と、まづ一つは、他に「可能性を秘めている」わ
けですから、自分の専門だけにこだわらずに
別の可能性も追求してみよう、です。





岩瀬 理系志望者にとって、二千字以上のエッセイというのはとてもつらいですね。例えば、コンピュータのスキルが優れた人ならば、自作のプログラムを提出するとか、そんな工夫があってもいいような気がします。

藤田 私に、AO入試で落ちて一般選抜入試で入ってこられた方が何人かいらっしゃいますが、とても優秀な方々です。私も茂手木さんの意見に賛成です。ただ高校時代の成績に基準を設けることは必要だと思います。やる気があっても、基礎学力がなければ学問はできません。

小原 そつです。ね、表さんの場合、ラグビーを続けながら、同時に他の可能性も開花していくことができればよいですね。最後になりますが、現状のAO入試について何か要望はありませんか？

茂手木 もう少し枠を広げて欲しいですね。文学部でいうと僕が入った哲学及倫理学専攻は四人枠ですが、美学及芸術学専攻は一人だけの募集なので、大変な競争率になっています。

岩瀬 審査で書く能力、二次審査で話す能力をみるというのも、私は少し疑問に思います。小原 AO入試の合格者がよく、一年次から四年次まで揃い、それぞれの経験

なものです。一次審査で書く能力、二次審査で話す能力をみるというのも、私は少し疑問に思います。小原 AO入試の合格者がよく、一年次から四年次まで揃い、それぞれの経験

アドミッションズ オフィス方式による入学者選抜(AO入試)とは

一般入試に代表される従来の選抜方式は、同一問題により学力を評価するものでした。点数方式により、公平で客観的な評価が可能な反面、ミスマッチを感じたり意欲に欠ける学生が出てくるのもやむをえないことでした。この反省から生まれたのがアドミッションズ オフィス方式による入学者選抜 = AO入試制度です。したがってAO入試では、自己アピールできるものを持ち、かつ「同志社大学で学びたい」という強い意思を持った受験生の「やる気」「個性」「可能性」を積極的に評価するもので、従来の「振るい落とし」から「掘り起こし」と、視点を変えたまったく新しい選抜方式だといえます。選抜方法は、第一次審査では、「自己紹介書」「志望理由書」「エッセイ(自由テーマ)」による書類審査を行い、第二次審査では面接で説明力、説得力を含めて総合的に審査します。現在、同志社大学では毎年八十余人の学生がこのAO入試で入学しており、正課はもちろん、課外活動、社会活動で、その個性を存分に発揮しています。

の中から貴重な意見を聞くことができまして、皆さんがそれぞれのやる気と個性を生かして、学業や課外活動で活躍していただくことを期待しています。それが皆さんが希望する、入試枠の拡大につながるっていくことだろうと思います。



Profile

藤田 栄子さん

【神学部 四年次生】

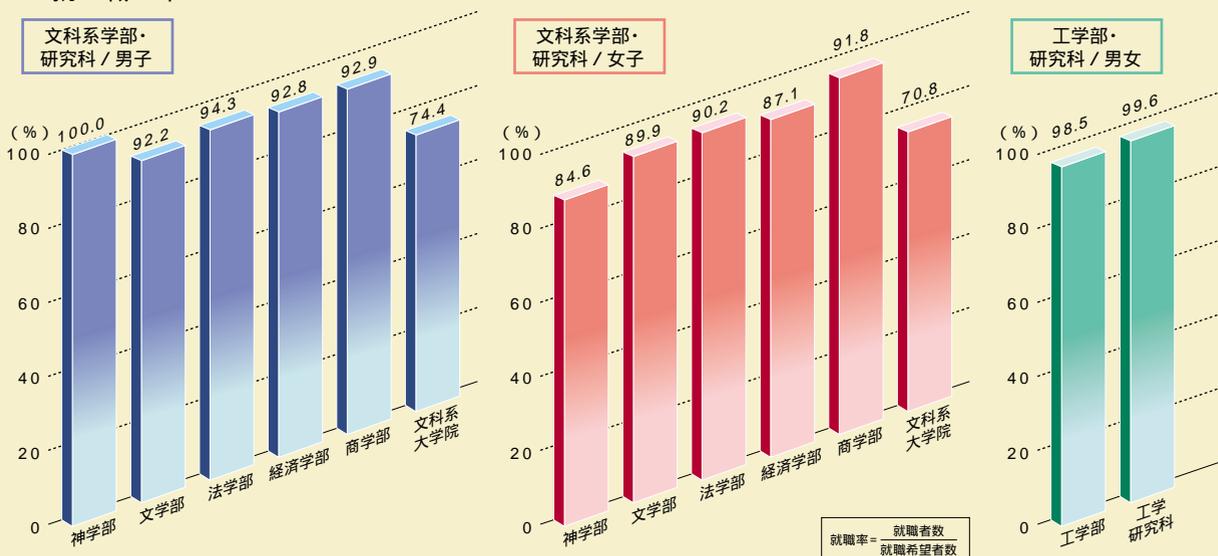
幼稚園の教諭を務めていたが、育児のために家庭に入る。子供たちに手がかからなくなったのを機に社会奉仕活動に入り、電話相談員を続ける。「さまざまな問題にぶつかる中で、女性の問題をキリスト教の視点からもう一度学び直してみたくなった」とAO入試の動機を語る。研究のテーマは、キリスト教宣教史における女性の役割。「ちょうど学生さんたちのお母さんの年代でしょう。あまり話しかけると、うっとうしいかなと思って、キャンパスではおとなしくしています。でも学生さんの方から話しかけてくれて…」とやさしく笑う。



データでみる同大生の 2000年度就職戦線

前年度にくらべると、2000年度の就職はやや好転した。たしかに「景気回復の兆し」がささやかれ、IT、医薬品業界を中心に採用意欲の高まりがあった。あまり景気の動向に左右されることの少ない本学学生の就職率も学部学生で1.5ポイントほど上昇している。といっても、ここ数年間が悪すぎたわけで、依然として就職難であることに変わりはない。就職戦線に勝ち残れるかどうかは、自覚的に学生生活を送るかどうかにかかっている。

就職率



主な就職先と人数

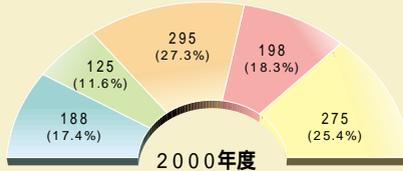
国家公務員 種	26	村田製作所	14	リクルート	9	京都信用金庫	7	静岡銀行	6
日本アイ・ピー・エム	26	トランス・コスモス	13	アストラゼネカ	8	京都中央信用金庫	7	シャープ	6
松下電器産業	26	富士火災海上保険	13	オリックス	8	国民生活金融公庫	7	セブン・イレブン・ジャパン	6
日本生命保険	22	キヤノン	12	京都府職員	8	ジャスコ	7	タカラスタンダード	6
京都銀行	20	京都市職員	12	国際証券	8	太陽生命保険	7	大日本製薬	6
大和証券グループ本社	19	ジェイティービー	12	滋賀銀行	8	高島屋	7	通商	6
東京海上火災保険	19	リコー	12	ティアアイエス	8	東海銀行	7	東海銀行	6
新光証券	18	キーエンス	11	デンソー	8	大和ハウス工業	7	東京コンピュータサービス	6
日本電気	18	富士通	11	トヨタ自動車	8	東芝	7	ニチコン	6
日立製作所	18	安田火災海上保険	11	日本ヒューレット・パッカーD	8	東レ	7	日本興亜損害保険	6
第一生命保険	17	トステム	10	日立システムアンドサービス	8	豊田自動織機製作所	7	日本通運	6
みずほフィナンシャルグループ	17	凸版印刷	10	堀場製作所	8	西日本旅客鉄道	7	阪急百貨店	6
三和銀行	16	同志社大学	10	村田機械	8	日産自動車	7	ファーストリテイリング	6
大日本印刷	16	萬有製薬	10	明治生命保険	8	日本電産	7	ベネッセコーポレーション	6
国税専門官	15	防衛庁職員	10	ローム	8	任天堂	7	本田技研工業	6
南都銀行	15	三井生命保険	10	ワイケイケイ	8	藤沢薬品工業	7	三菱自動車工業	6
野村證券	15	エス・ティ・ティドコモ関西	9	旭化成	7	山之内製薬	7	森永乳業	6
安田生命保険	15	京セラ	9	朝日生命保険	7	アクセンチュア	6	有線ブロードネットワークス	6
住友生命保険	14	三洋電機	9	尼崎信用金庫	7	伊予銀行	6	読賣新聞社	6
積水ハウス	14	東京三菱銀行	9	インテック	7	大垣共立銀行	6		
日興証券	14	松下電工	9	大阪市職員	7	大阪府職員	6		
三菱電機	14	メイテック	9	大塚商会	7	三共	6		

業種別内定状況

【文科系男子】(人)



【文科系女子】(人)



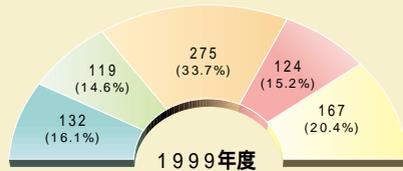
【工学部・研究科】(人)



1999年度



1999年度



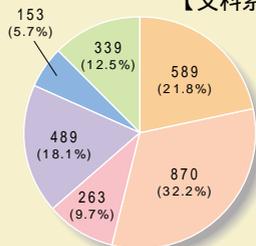
1999年度



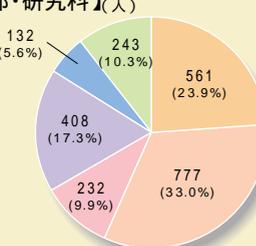
メーカー 流通 金融 公共 マスコミ・サービス他

従業員規模別内定状況

【文科学部・研究科】(人)

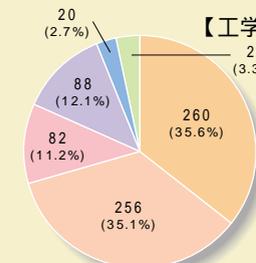


2000年度

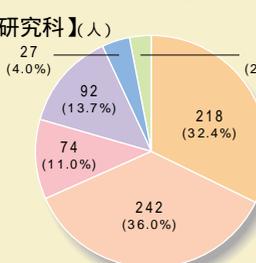


1999年度

【工学部・研究科】(人)



2000年度

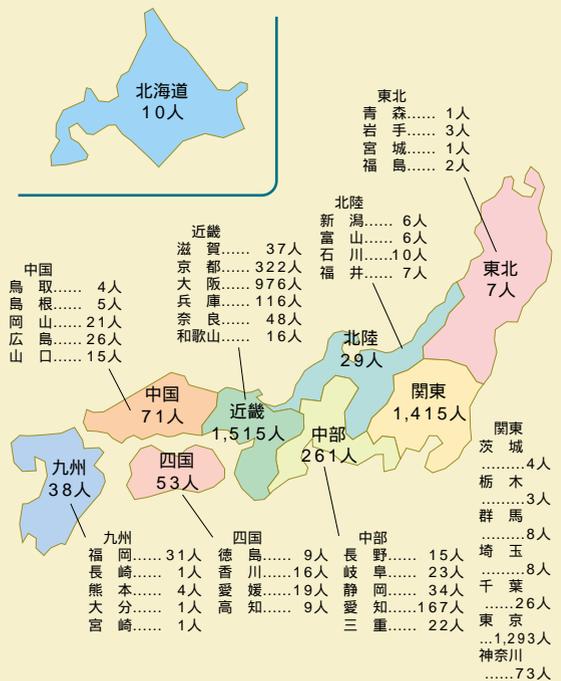


1999年度

巨大企業 大企業A 大企業B 中企業 小企業 その他

(注) 巨大企業=従業員5,000人以上 大企業A=1,000人以上 大企業B=500人以上
中企業=100人以上 小企業=100人未満

地区別内定状況



法学部
政治学科
村田晃嗣ゼミ
(三年次)

現代社会を動かす 生きた国際外交を学ぶ

村田ゼミの授業は、毎週一人が指定テキストを元に発表し、これに対する質問に答える形で進行。最終的には自分の選んだテーマに沿ってレポートをまとめることになる。ゼミ生たちの関心は、もっぱら戦後の東アジアを中心とした安全保障に集まっているようだが、村田先生は、外交は歴史の中から基礎を学ぶことが大切だ。ゼミではその基礎を共有しながら、今日国際社会で展開している外交について考えてみたいと話す。今回は、ゼミ生の中から有志五人が集まっていた。外交史について話し合ってみよう。



村田 晃嗣
(法学部助教授)



奥野 彩子さん



本多 宏江さん



村瀬 正臣さん
(四年次生)



石井 久美さん



井上 恵さん

ぐるしく変化していますね。とくに近年は一年違つと様相が一変するくらいの激動の時代を迎えています。こうした変化は学が上で面白い反面、将来はどつなるんだらうという不安感を抱かせます。私は、こうした外交を学ぶことにより、よりよい未来を描き出せないものかとのゼミを選びました。

奥野 私はずっと日米安全保障に興味を持っていました。中学校、高校とも戦争教育に熱心で、戦争をテーマにした演劇をやったりしていたのですが、戦争責任は一方的に日本にあるものと教わりました。私は、果たして本当にそうなんだらうかと疑問を持ち続けていて、大学ではいろいろな角度から戦争や安全保障の問題を考えてみたいと思っています。

石井 私は、一年次に「国際交流論」を受講して国際政治について面白そうだなあと感じていました。でも外交史を学ぶきっかけになったのは、茶道部のご出身だという村田先生の「政治学演習」を受講してからです。ちなみに私と井上さんは茶道部です(笑)。

井上 私の中学校、高校にはカンボジアの方

が何回かお見えになり、地雷撤去の講演をされました。手足がなく、車椅子生活を余儀なくされていましたが、その方が、戦火の中でも国を愛し、荒廃した祖国を捨てることなく危険な地雷撤去作業に従事した心情を思い測りながら、国際政治の波間で犠牲になった人々の悲劇を感じました。外交における駆け引きとは、冷戦構造下における米ソのように力を持つ者が行うもので、弱者はそれに翻弄されて生きていくしかないのだらうかと考えさせられました。

村瀬 私はその駆け引きこそ外交の面白さがあると感じています。表面上はきれいに纏いながら、水面下では、きつねとたぬきの化かし合いを行うのが外交術であり、キョウバ文化が生み出したものではないでしょうか。東洋の価値観、とくに日本人の価値観からすると駆け引



きはなかなか受け入れ難いものです。しかし、インターネットやe-Jaysなどで国際社会がポータルになってきた今日、日本人もそろそろ外交における駆け引きを学ぶべきだと思います。

石井 確かに日本の外交は弱腰で、いつも負けている印象があります。日本人としてとても悔しい思いもします。そこで駆け引きについて考えてみると、井上さんが強者間で「そ成り立つ」と言われましたが、そう単純ではない。弱者には弱者なりの振る舞い方があり、例えば日本には経済面の影響力を使えば米國とも渡りあえないことはない。なぜそれができないか。あるいはなぜ米國が外交でつねに指導権を握れるかを考えてみると、彼らが冷戦構造の中で外交力を最大限発揮する方法を学んできたからだと思います。

井上 李登輝前台湾總統の訪日問題でも日本の外交は腰が定まらなかったですね。
村瀬 中国のやり方は明らかに内政干渉だと思えます。今回の訪日要請は医療目的であ



り、人権上の問題だからと空っぽなればよかったのです。

奥野 中国の反対に会えば、ビザ申請は受け取っていない」と言ってみたり、結局ビザを発行したりと、外務省の姿勢には一貫性がありませんでした。米國では、公人も公職から六カ月以上離れていれば私人と見なされま



すから、他國が干渉しようが入国を許可します。ところが、日本は前例のないものにはなかなか決断ができない。規範を守っていくには長けているのに、本多 一貫性がないのは、外交の方向性が定まっていなからだと思います。日本が国際社会の中でどう生きていくかがはっきりしないまま、他國との協調を大切にしようとする。結果、今回のように日中関係、日台関係の双方にじりを残してしまっ

た。村瀬 米國のように利己的に振る舞えばいいんです。国益を中心に考えれば、外交方針もはっきりします。
村田 国益を中心に考えれば、李登輝さんの訪日はお断りするべきでしょうね。日中貿易と日台貿易を比べれば、明らかに日中貿易を重視する方が国益にかないます。そもそも今回外務省が李登輝さんの入国を許可したのは、人権に配慮したからなのでしょうか？
石井 マックス・ウェーバーが、心情倫理と責任倫理という形で区別していますが、医療目的だからということなら心情倫理に基づく判断だと思います。しかし、政治の世界は責任倫理において行われるべきで、導かれる結果に対して責任にかなうかが問われるべきです。一人一人の命に関わることで、中国が反対するのは中国なりの責任倫理に基づく判断があったと考えるべきだと思います。

きりしないまま、他國との協調を大切にしようとする。結果、今回のように日中関係、日台関係の双方にじりを残してしまっ

たいのは、現在行われている外交はまだ評価が定まりませんが、過去の出来事についてもそうなんです。ただその中でも、国際政治を動かしている変わらない要因というものがあります。その変わらないものと、社会環境や経済環境の変化の中でどんどん変わっているものを外交史から学ぶことにより、自分の中で区別し、国際政治の本質を見抜く力をつけて欲しいと思います。

2001年度大学予算について

財務部 経理課

本学はこれまで教育研究水準のさらなる向上にむけ、制度の改革や教育研究条件の改善などに積極的な取り組みを行ってきました。また、2000年度には知能情報に関する研究の拠点となる知能情報センターの建設、大型計算機や教育用パソコンのリプレースをはじめとする情報基盤の整備充実、そして情報処理教室やマルチメディア教室の整備などに努めてきました。今後、本学の教育研究水準をさらに向上させていくため、専門大学院の設置や学部・学科の新増設に取り組みつつ、教員の補充・増員、国際主義教育、情報教育の充実、教室および情報処理施設の整備、マルチメディア設備の整備、奨学援助制度の充実などに積極的に取り組まなければなりません。また、教育研究活動の高度化・共同化・国際化に対応した教育研究条件の改善、にも努めるとともに、広報活動の一層の強化を図り、広く社会との連携を深めていくことが求められます。

2001年度予算編成においては、とくに教育研究条件の整備充実事業として学部・大学院教育研究助成費の増額および情報基盤講座やインターシッププログラムの実施などに係る予算措置を講じたほか、教育研究環境の整備充実事業として共同研究室などの研究施設設備の整備ならびにマルチメディア教室や図書館などの学生関連施設設備の整備を図るための予算を計上しています。また、情報基盤の整備充実事業として教育支援システム、研究支援システムの機能拡充、情報処理教育用ソフトウェアの充実、ネットワークの機能強化を図るための予算を計上しています。さらに、国際交流の充実、広報活動の充実、就職活動の支援、学生生活の支援、体育施設の整備など教育研究環境の一層の充実を図るため重点的な予算を計上しています。建設事業においては、施設設備のライフサイクルを考慮した更新事業として寧静館および福利厚生棟の空調電気設備等に係る改修事業を予算計上したほか、重要文化財であるクラーク記念館について、全面改修は今後に予定されている補助金事業に委ねることとし、当面の応急修理の実施、さらに、特に傷みの著しい有終館、啓明館についての補修事業を予算措置しています。また、新規の主な建設事業としては、保健体育更衣室の建設、歩行者用デッキへの屋根の取付、山手幹線開通に伴う整備事業など特に緊急性の高い施設設備整備事業を計上しています。一方、経常的経費については前年度予算を基準として計上し、管理経費については極力節減を図るとともに、教育研究水準の維持向上を図るため、限られた財源の重点的、効率的な予算計上を行っています。

収支予算について (表1)

収入面では、学生生徒等納付金については、在学生に係る学費の漸増はあるものの、新入生学費の据え置きおよび臨時的定員の段階的解消にともなう学定員の減少により前年度に対して4億円の減収となる見込みです。補助金収入については、前年度と比較して、学術フロントティア推進事業および教育・学習方法高度情報化推進事業等の施設設備整備に係る補助金対象事業の完了にともない収入見込額を6億円減額計上しています。また、同志社創立125周年記念事業および同志社びわこリトリートセンター建設事業の完了にともない寄付金、協賛金、分担金ならびに準備金の取崩しについても減額計上しています。手数料、寄付金、その他の収入については、より一層の増収に努めるとしていますが、予算編成方針にもとづき確実に収納が見込めるもののみ計上しています。借入金収入については、新規の借入金はなく学校債のみ計上しています。以上によ

り、収入の部合計は295億円となります。

支出面では、人件費については、本学教学の発展のためには教員の充実は緊急の課題であり、教員の実質増員が可能となる予算措置を図っていますが、退職金および退職給与引当金繰入額の減少により、差引3億円の減額計上となっています。なお、退職者の減少により退職金財団交付金収入についても4億円の減収となる見込みです。教育研究経費、管理経費、施設関係支出、設備関係支出および基本金繰入額に係る事業内容は事業別予算のとおりです。事業費については予算編成方針にもとづき重点的な予算増額計上分はありますが、前年度に対し、同志社創立125周年記念事業、同志社びわこリトリートセンター建設事業および知能情報センター建設事業などの特定事業の完了にともない減額計上となっています。借入金返済については、2年度にわたり返済を繰り延べた市中銀行からの借入金について償還計画にもとづき優先して償還することにより、本年度末をもって完済となります。なお、繰入金について

は、法人内での資金調達定額であり、2001年度より新たに法人内資金調達額を計上しています。本処理は、法人全体として有利子負債による負担を軽減するため、既存の銀行借入金の返済資金や新たな建設事業に係る資金を法人内で調達できるものとし、資金の調達を受けた学校は、返済計画に従い毎年度の元金および利息相当額を償還するものです。以上により、支出の部合計は303億円となります。

以上の結果、2001年度消費収支差額は、8億円の消費支出超過となる見通しですが、学校法人に係る消費収支差額を除くと4億円の消費収入超過となり、単年度においては概ね収支均衡の予算編成となっています。しかしながら、次年度以降の消費支出に充てる支出準備金に5億円を繰入後の翌年度繰越消費支出超過額は、12億円増加し200億円となる見通しであり、依然として多額の消費支出超過を計上することとなります。(本文中の金額については1億円未満を四捨五入しています)

事業別予算について (表2)

1 教育研究費

研究費は、学部・研究科における研究室研究費、個人研究費、学術資料整備充実費、学術奨励研究費、高度化推進特別経費、情報化推進特別経費など研究活動に係る経費です。

研究所経費は、人文科学研究所、理工学研究所、アメリカ研究所の研究活動に係る経費です。

実験実習費は、工学部、文学部心理学専攻の実験実習に要する経費です。

教育研究援助費は、学部・研究科の教育研究助成費、教学充実費、授業運営費などが主なものです。

情報処理教育研究費は、教育研究支援システム・大型計算機システム・学術情報ネットワークシステム等の賃借料、情報処理用ソフトハードの機能拡充経費、新規計上の情報基盤講座の開設経費など情報処理教育研究に係る経費です。

学術情報整備充実費は、図書館の図書資料およびマルチメディア資料購入費のほか、貴重学術資料の電子化および電子資料の利用環境整備、新規計上の図書受入整理業務の委託事業などに係る経費です。

国際交流関係費は、学術交流協定校との留学生の受入・派遣に対する奨学金、客員教員・留学生のハウス運営費および宿舍家賃補助制度、サマープログラム実施、留学生別科の運営費など国際交流に係る経費です。

2 学生経費

奨学援助費は、学部・大学院奨学金、夜間主コース奨学金、留学生奨学金などの給付奨学金が主なものです。

学生生活助育費は、課外活動援助、就職活動援助、学生健康管理、学生災害傷害保険、医療費援助事業、新規計上の大阪就職サポートオフィスの開設経費、インターシッププログラムの実施経費、障害学生支援制度の実施経費など授業以外の学生生活に係る経費です。

3 施設・設備整備充実費

教室、図書館、課外施設、体育施設の改修およびマルチメディア設備教室の整備など施設設備および学習支援環境の整備充実に係る経費です。

4 施設・設備維持管理費

冷暖房運転、守衛、清掃等業務委託をはじめとする施設設備の維持管理に係る経費です。

5 維持運営費

光熱水費、電信電話料、借地料など大学全体の維持運営に係る経費です。

6 一般管理費

ホームページのリニューアルをはじめとする情報公開および広報誌発行、新規計上のリトリート講演会、環境教育キャンパスの実施経費など大学共通の業務運営費に係る経費です。

7 特別事業費

建設事業費として、寧静館・福利厚生棟の空調電気

設備改修をはじめ、クラーク記念館・有終館・啓明館の建物補修、また新規に保健体育更衣室の建設、歩行者用デッキへの屋根の取付、山手幹線開通に伴う整備や体育施設設備の整備、リトリートセンターへのパイプオルガン設置などを計上しています。

8 法人経費

理事会、役員などの法人業務に係る経費、厚生施設に係る経費などを計上しています。

9 創立125周年記念事業費

大学独自の事業として、同志社125年史年報の刊行および新島遺品庫電子化資料公開システムの構築を予定しています。

10 基本金・準備金

第2号基本金は、将来取得する固定資産に充てるための資金です。

第3号基本金は、基金として継続的に保持し、その運用果実により教育研究活動の遂行を支援するための資金です。

組入計画にもとづき、第2号基本金に教学施設整備資金、情報基盤整備資金、研究装置設備等整備資金を、第3号基本金に同志社大学奨学金、国際交流基金を計上しています。

なお、2001年度においては基本金の取崩しはなく、固定資産の取得は全て自己資金で賄う予算を編成しています。

2001年度収支予算書 (表1)

2001(平成13)年4月1日から2002(平成14)年3月31日まで(単位:千円)

収入の部			
科目	予算	前年度予算	増減
学生生徒等納付金	23,923,690	24,310,970	387,280
手数料	1,198,600	1,198,600	0
寄付金	103,500	374,390	270,890
補助金	2,320,000	2,898,800	578,800
資産運用収入	455,190	479,960	24,770
資産売却差額	0	0	0
事業収入	106,600	105,350	1,250
雑収入	690,130	1,065,950	375,820
繰出金	9,410	8,820	590
繰入金	147,800	158,850	11,050
附属収入合計	(28,954,920)	(30,601,690)	(1,646,770)
第2号基本金取崩額	0	700,000	700,000
当期固定資産除却額	415,720	438,300	22,580
前年度基本金組入額繰延額	0	1,480	1,480
借入金等収入	100,000	100,000	0
当期末未払金	0	0	0
基本金繰入額(人財、未組入額計)	(515,720)	(1,239,780)	(724,060)
特定支出準備金取崩額	63,320	1,915,660	1,852,340
収入の部合計	[29,533,960]	[33,757,130]	[4,223,170]

支出の部			
科目	予算	前年度予算	増減
人件費	13,662,690	14,000,070	337,380
教育研究経費	8,658,290	8,984,790	326,500
消耗品費他	6,143,170	6,310,030	166,860
減価償却額	2,515,120	2,674,760	159,640
管理経費	879,660	1,012,210	132,550
消耗品費他	813,150	926,360	113,210
減価償却額	66,510	85,850	19,340
借入金等利息	180,570	214,650	34,080
資産処分差額	0	0	0
徴収不能引当金繰入額	34,620	35,290	670
繰入金	1,150,000	102,360	1,047,640
予備費	200,000	100,000	100,000
消費支出合計	(24,765,830)	(24,449,370)	(316,460)
施設関係支出	593,980	2,909,550	2,315,570
設備関係支出	1,105,060	1,631,650	526,590
翌年度基本金組入額繰延額	300	0	300
借入金等返済支出	1,765,900	3,153,290	1,387,390
前期末未払金	0	26,580	26,580
第2号基本金組入額	1,500,000	1,500,000	0
第3号基本金組入額	450,000	701,100	251,100
第4号基本金組入額	88,700	1,600	87,100
基本金組入額、当年組入額計	(5,503,940)	(9,923,770)	(4,419,830)
特定支出準備金繰入額	24,720	22,680	2,040
支出の部合計	[30,294,490]	[34,395,820]	[4,101,330]

収支差額の部			
科目	予算	前年度予算	増減
当年度消費収支差額	(760,530)	(638,690)	—
消費支出準備金繰入額	456,780	915,120	—
消費支出準備金取崩額	0	0	—
繰入取崩後消費収支差額	(1,217,310)	(1,553,810)	—
前年度繰越消費収支差額	[18,814,960]	[17,261,150]	—
翌年度繰越消費収支差額	[20,032,270]	[18,814,960]	—

事業別予算書(表2)

(単位:千円)

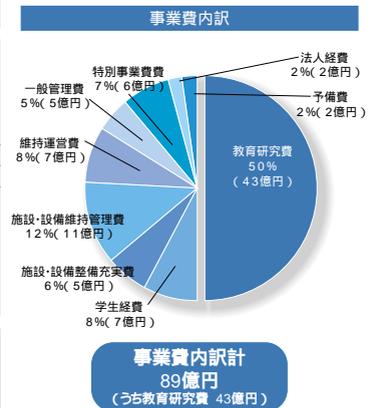
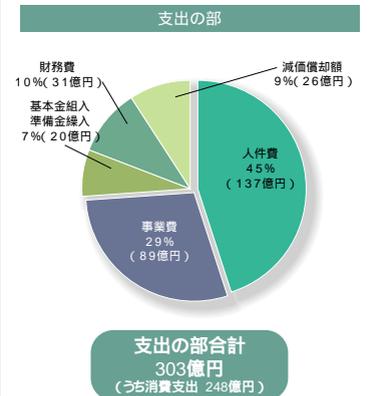
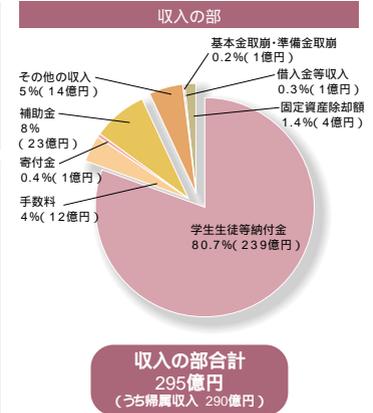
事業別予算総括表	
事業項目	予算
人件費	(13,662,690)
事業費	(8,855,360)
基本金・準備金	(2,063,720)
財務費	(3,131,090)
減価償却額	(2,581,630)
支出の部合計	[30,294,490]

事業費内訳	
事業項目	予算
教育研究費	(4,343,772)
研究費	1,248,070
研究所経費	123,462
実験実習費	606,011
教育研究援助費	343,764
情報処理教育研究費	827,630
学術情報整備充実費	483,232
国際交流関係費	106,971
入学試験経費	346,540
教学事務運営費	258,092
学生経費	(684,948)
奨学援助費	318,710
学生生活助育費	229,082
学寮費	137,156
施設・設備整備充実費	(513,769)
施設・設備等整備充実費	513,769
施設・設備維持管理費	(1,098,983)
施設・設備等維持管理費	1,098,983
維持運営費	(744,440)
通信費・光熱水費	744,440
一般管理費	(456,638)
一般管理費	377,391
教職員福利厚生費	79,247
特別事業費	(605,480)
静電気調整電気設備改修	100,000
有線館屋根葺替外壁防水	70,000
ラック館石剥離雨漏補修	50,000
啓明館屋根葺替外壁防水	40,000
福利厚生寮空調設備改修	127,120
体育施設地区更衣室建設	91,880
歩行者用デッキの屋根取付	41,480
山手幹線開通関連整備事業	30,320
パイプオルガン設置	11,500
その他の建設事業費	43,180
法人経費	(207,330)
予備費	(200,000)
事業費小計	[8,855,360]

基本金・準備金内訳	
事業項目	予算
第2号基本金組入額	(1,500,000)
教学施設整備資金	1,200,000
情報基盤整備資金	100,000
研究装置整備等整備資金	200,000
第3号基本金組入額	(450,000)
同志社大学奨学基金	250,000
国際交流基金	200,000
第4号基本金組入額	(88,700)
翌年度基本金組入額繰延額	(300)
特定支出準備金繰入額	(24,720)
基本金・準備金小計	[2,063,720]

財務費内訳	
事業項目	予算
借入金等返済支出	(1,765,900)
借入金等利息支出	(180,570)
徴収不能引当金繰入額	(34,620)
繰入金	(1,150,000)
財務費小計	[3,131,090]

収支構成図



人気テレビコマーシャルの ディレクターに聞く



Masaharu Yokota



よこた まさはる
横田 真治さん

【1971年文学部文化学科美学及芸術学専攻 卒業】
株式会社高映企画 代表取締役社長

1947年生まれ。大学卒業後、テレビコマーシャルの制作会社にアシスタント・ディレクターとして勤務のち独立し、高映企画を設立する。後に電通関西支社局長となる堀井博次氏（'60年工学部電気工学科卒）と出会い、大日本除虫菊の一連のテレビのCM演出家として活躍する。東京に進出するがあくまで大阪にこだわり、目下2008年オリンピックの大阪招致に向けたプレゼンテーション映像の制作に情熱を傾ける。IOC総会という大舞台でのプレゼンテーションだが、大阪の笑いで“つかみ”の大役が果たせないものかと知恵を絞っているという。

小松 金鳥やユトボスなど、横田さんのつくられるテレビCMはいつも楽しく拝見しています。横田さんのCMには、どれも独特のユーモアがありますね。

横田 小松さんは、最近見たきれいなCMと、それとどうして何を思い出しますか？

小松 そうですね、ソニーのものか。

横田 ソニーのどんなCM？

小松 ……

横田 きれいなCMは、なかなか具体的には思い出せないのでしよう。でも、例えば金鳥リキッドのCMは、どうでしょう。三秒もあれば思い出せるのでは。

小松 「油と、ちやうどちやうど、ごう、あのCMが、感じてですね。」

横田 そうでしょう。現在は情報社会と言われていますが、私たちが伝えたいのは情報とはちよつと違う。今度の新製品は、従来のように油性でなく、水性で無害で……と理屈で迫ると、視聴者は身構えてしまう。そんな難しいものもなくて、作り手の思いと、いいものだから買ってもらいたいという気持ちを素直に伝える手法として、笑い“を使う”ているんです。笑って、それは、無防備になっているわけですね、自然に心に届いてしまっている。

小松 私たちは、まんまとやられているわけですね笑。

横田 決してだましているわけではないですけれど、「シロウト」がどこのテーマが「シロウト」であっても、伝わらなければ意味がありません。ユーボスのCMフーズに「ファミリーヤル」早よ見るワ」といっのがあります。が、あれは「マイシヤル」が放映された月だけで、七千件のアクセスがありました。要するに「マイシヤル」の持つキーワードとか「ユアマン」スといったものが、本来異質な視聴者と「スポンサー」の気持ちをつ結びつける潤滑油の役目をしてるんです。

小松 伝えたい思いを、独特の笑いでくるのが発想というのには「シロ」が生まれるんです。横田 最初から面白さを狙っているのではなく、結果として面白くなってしまう笑。私はアイデアに行き詰ると、よく電車に乗ります。電車で面白いですよ。駅ごとに風景が違って、乗ってくる人も違う。そして、想像をたくましくしながら、乗ってくる人を観察して想像をふくらめます。このおはさんは……うんうん分かるなあ、旦那さんの気持ち。だからいつも家に帰るの遅いんや。旦那さんの趣味はきょうとカラオケや、こんな感じですね。先日も電車に乗っていると、お行儀の悪い子供がいましたね、靴を脱がすにシートの上がっちはしゃいでいる。さすがに

母親も堪忍袋の緒が切れて叱りだしたと思っただけ以上騒いだら、あのおじちゃんに叱られても「シロ」何の関係もない私を指さすおいおい、叱らなめかんのはアタヤる。」「シロ」のもネタになるんです笑。

小松 その感じはよく分かります。ところで横田さんは、聴講生として同志社大学においていると聞きましたが。

横田 金曜日だけですけれどね。大学で面白いですよ。こんな面白いところを、若者だけに独占させておくのはもったいない。文化人類学者の山口昌男氏が、大学は遊園地である、とおっしゃっていますが、まさに知的な遊びの場として「これほど面白いところはありません。図書館は休日も開いているし、パソコンは使える、おまけにメールアドレスやパスワードまでもらえる。それに私は、最近いろいろなことに興味を持つようになりまして、五年前から「情報社会学」や「消費行動の心理学」、「アメリカの現代史」など、楽しく聴講させてもらっています。

小松 横田さんの学生時代は、学園紛争の時代でほとんど授業を受けられなかったとか。

横田 授業が正常に行われたのは最初の一年だけで、あとは封鎖になりました。小松 授業料がもったいない(笑)。



横田 そもそも私が同志社大学に入ったのは、同志社プロダクションというクラブに入ってたからです。私は、高校時代から映画がつくりたくてしかたがなかった。でも大学で映画制作について教えてくれるところなんてありません。同志社大学の美学及芸術学専攻でも映画に関する講座は「映画学概論」くらいしかないので。でも同志社プロダクションに入れば映画がとれる。さうそく入部した私は映画に没頭しました。といっても、当時の学生がつくる映画っていうのは、大抵は短編で、しかもアンダーグラウンドなものばかり。意味は、つくった本人にしか分からない。やがてシナリオに興味を持ちはじめたんですが、ちょうど月刊「シナリオ」主催の京都セミナーというのがありまして、著名な





脚本家がシナリオの書き方を教えてくれるわけです。それに参加したご縁で、あるシナリオライターのゴーストライターになり、水戸黄門や銭形平次シリーズのシナリオを書かせていただきました。

小松 凄いですね、何年次の頃ですか。

横田 三年次の頃でした。凄いといっても第一稿のゴーストライターですから大したことはありません。そんな生活を続けながら、シナリオスクールにも応募していました。優勝賞金が三百万円ですから、とても魅力があったんです。作品は京都地区の予選は通過しましたが、東京地区の予選通過者の名前を見ると、ジエーム三木さんや倉本聰さんの名前が出ています。「こうアカンわ」と思っていると、案の定佳作に終わってしまいました。

小松 卒業後は、映画界へ？

横田 そんなに甘くはありませんでした。ただ当時の大映の撮影所長の目に私のゴースト映画応募作品が目に入ったようで、ぜひうちの脚本部に来てほしいので、就職は待ってもらえないかという連絡をもらいました。「やった」と思いましたが、当座食べていくあてがない。ちょうどその間に同窓社プロダクションの先輩から「テレビコマーシャルのアシスタント・ディレクターを募集している」という話があっ

て、これは渡りに船と、大映に正式に採用されるまでアルバイトでしのぐことにしました。ところが、当時、邦画界はどん底で、その年の十月、頼みの大映が倒産してしまい、結局「コマーシャル制作の道に入ったわけです」。

小松 その後、若くして独立されたそうですね。

横田 アシスタント・ディレクターからディレクターになった頃でした。モノづくりは組織の中ではできないし、自分の力も試してみたいと思い、独立しました。今振り返ると、すべて出会いですね。シナリオライターとしての修業も「コマーシャルづくりも、その後、広告業界に入ってから随分人に恵まれました。とくに同窓社の先輩方は、マヌケや放送業界で活躍されていますから、いろんな面で力になっていただきました」。

小松 最後になりましたが、私も含め後輩に何かアドバイスをお願いします。

横田 先ほども話しましたように、最近はいろんな事に興味が湧き出しました。大阪弁に「イチトリ」というのがあるでしょう。いたずら小僧の心境で、他人の仕事にも、イチヨリしたくなるんです。私もそういう心境になっているのだから、若い皆さんは、もっと好奇心旺盛にいろんな可能性を追求してほしいですね。小松さんはいまカメラに凝っているそうですね。カメラが好きなら、興味が尽きるまで「ここんやってほしい。たとえ失敗しても、若いうちはリセットがいくらでも効くのですから」。

小松 ありがとうございます。今後、案外「コマーシャル」を見せてください。

横田さんの旺盛な知的好奇心はどこからくるのだろう。

テレビコマーシャルを見るのは好きですが、制作サイドの方のお話を聞くのはもちろんはじめてでした。映画制作の道を断念し、CM制作の道を歩まれたときの心境はどうだったのだろう。若くして独立された背景には、きっと横田さんが映画づくりをめざした学生時代の頃の血が騒いだのだろうな。そんなことを想像しながらCM演出家横田真治について考えていると、「CM制作者というのは匿名ですから」と語った横田さんの言葉がキーワードになるように思えてきました。匿名だからこそできる自由な発想。匿名だからこそ大切にされている謙虚な姿勢。私たち学生とキャンパス生活を共有できるのも、名前はもちろん年齢からも解き放たれてしなやかに生きる術を心得ていらっしゃるからだろうと想像してしまいました。

INTERVIEWER

小松恭子さん

【文学部文化科学美学及芸術学専攻】 3年次生

「まだ趣味の域を出ませんから…」というカメラは、高校時代にやっていたバスケットボールの試合でシャッターを押したのがきっかけ。現在は、結婚式場で記念撮影のアルバイトに励む傍ら、美術学校で写真の授業を聴講する。横田さんのアドバイスを聞いて、「カメラマンへの道も、将来の選択肢のひとつとして考えてみようかな」と勇気づけられた様子。



CAMPUS NEWS

キャンパス
ニュース

学生レポート STUDENT REPORT

その二足が道となる。
迷わず行けよ。行けば分かるさ。

体育会
ワンダーフォーゲル部

体育会ワンダーフォーゲル部が創部以来初の海外遠征を実現したのは二年二月下旬のこと。場所はニュージーランド南島。そこは独自の植生と地形による素晴らしい景観を持つ島であった。

海外登山の何たるか、ノウハウを知らない我々にとってこの計画自体が全く初めてのことであった。地図の入手、気候、通信、地形、ルート、救助体制、交通費などの費用の問題、言語、ひいてはニュージーランドという国自体である。部員を各部門に分け、主にインターネットで検索して調べ、何度も情報交換を行い、協議した。またそれと並行してニュージーランドで使うであろう技術を、日本で完全にマスターすることも課題の一つであった。十一月にはクラブから二人選出し下見も敢行した。



悠々と草を食む牛、素快な氷河を

二泊三日の合宿と四泊五日の合宿の二つでも予想外の好天に恵まれ、問題なく安全に終えることができた。



持つ山々、その氷河から溶け出でた滝・湖、ルートが暗くなるほどのフナノ原生林

ヤシダの森、ニュージーランドらしい大自然を満喫することができた。

だが、この遠征を計画・実現する中でクラブが得たものは、その素晴らしい景観以上のものであった。第一に、計画を海外に持っていくことで、山行に本当に必要な情報は何か、なぜそれが必要なか、というのをあらためて考えた。日本での山行計画を作る時、以前からクラブにあるノウハウを使えば案であるが、そういうものを、なぜ必要か、と考えることは少ない。そんな中で、海外の登山に起こりうる状況を想像し、それに対する対応を用意できたことの意味は大きい。伝統の中でそれに従う時、常にその意味を考えるという意識が芽生えたこと。第二に、このクラブの中では何をしてもよいのだという気持ちを持てたこと。主体性を持ち、本当にしたいことを本気で追求める者にとってこのクラブは無限の

可能性を提示してくれる。海外でも、木登りでも何でもよいのだ。またひとつ自由になるクラブと人間。第三に、とりあえずやってみて実感すること。未知のものにあたっていくことの大切さである。遠征を頭の中でシミュレーションし、結局止めることなく、実際に行動に移し、成否に関わらずやってみることは大きく違う。ニュージーランド遠征計画が全てにおいて成功だったのではなく失敗もあったがそれを次のステップへと受け止めることができるのは実践したからではないか。

クラブは組織であるが、組織は個人の集まりである。今回のニュージーランドの合宿で得たものを個々に持ち、それをクラブの財産としても持ち続けてほしいものである。

そして最後に、なんだかんだ言ってお宿はやはり楽しかった。協力してくれた多くの友達に心から感謝している。

体育会ワンダーフォーゲル部 二年 年度
主将 木村 隆幸(商学部四年次生)



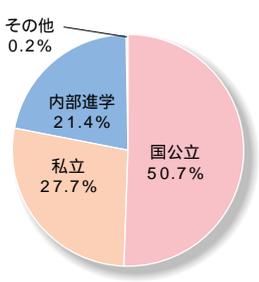
大学教育に関する意識調査

文学部文化学科教育学専攻の山田礼子ゼミでは、最近の学生事情を分析するためキャンパスに出てアンケート調査を実施した。その調査データをもとにレポートにまとめてもらった。

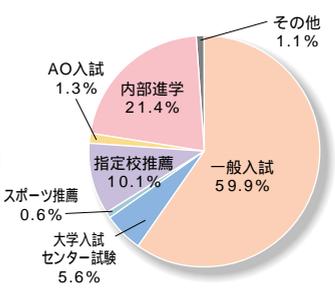


大学のユニバーサル化が叫ばれる中で、今日の学生がどういった意識を持って、何を目的として大学へ進学してきたのか、また大学教育に対してどのようになっているのか、学生意識を探るために本学学生、五三八人(男子三〇七人・女子二二一人)を対象にアンケート調査を実施した。

出身高校の度数分布



回答者の基本的属性(入試方法)



まず、高校と大学の接続部分について、次の三点が検証できた。
 大学進学理由には性差がはつきりと表れていること。
 大学に進学することを意識した時期は出身高校や大学に何を求めているかによって特徴があること。
 大学の学部選択において高校時代

の得意科目と強い関連があること。

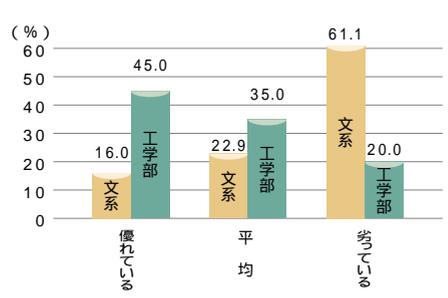
について、男子学生は就職に有利であることや、社会的地位を得ることが重要だと考えている傾向が強く、大学進学を将来の有効な手段として考えていることがわかった。一方、女子学生は大学生活に対して憧れをもっており、キャンパスライフを楽しみたいから進学している傾向が強かった。女性の方が、今を楽しもうとする傾向が強いと言える。

について、小学生の時に大学に進学しようと思った学生は同志社内諸学校からの内部進学者が最も多く、私立・公立高校出身者は中学生の時に意識した者が多かった。

また、大学で学ぶ内容に興味があったから、など内的な要因で大学進学を意識した者より、大学進学を将来の手段と考えている、といった外的な要因による者の方が比較的早い段階で大学に進学することを意識していることがわかった。

について、大学の学部を選択する際、高校時代に興味があった科目や得意分野に進学している学生が多かった。しかし、経済学部、商学部の学生については、その関連性は見て取れなかった。これは、経済学部や商学部の学問領域が、英文学科や美学及芸術

数学能力の分布表



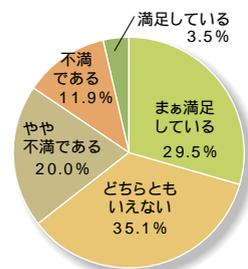
学専攻などに比べて漠然としているように見えるからと考えられる。

次に大学が実際に学生の目から見たときにどのような評価を受けているのか、また学生はその、学生という立場をどのように考えているかを分析した。

分析に際して、男女別や受験形態別、また現役か浪人かという分類が大学に対する姿勢に影響を与えるのではないかと考えた。そこで対象の学生を分類して比較する方法を多くとったが、ここに明確な差は現れなかった。これは各分類の要因よりも個人の意識や性格が強く反映されているためと考えられる。

入学後の学生の自己分析についても、学部環境におけるカリキュラム内容や、クラブ活動、またその中においての立場の変化といった個人的な外的要因と、それによって引き起こされる

カリキュラムに対する満足度



内的要因が大きく影響し、学年によっても変化している。つまり大学四年間は、自己あるいは社会について考え始め、自己実現に向けて行動し始める時期、人間として成長する過程であるといえるのではないだろうか。

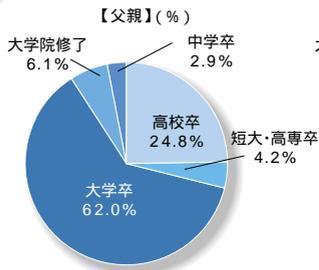
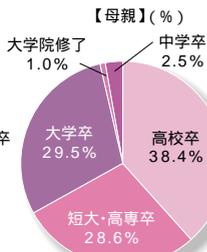
最後に大学に対する満足度を分析した結果、やはり興味のある分野の学部を選んだ学生の満足度は高かった。また、教員や大学を吟味して志望校の決定をした学生や、大学に専門知識や広い教養の習得を期待している学生についても、そのカリキュラムに対する満足度は高いという結果が出た。つまり、学生が学問的な期待を持っていれば、大学はその期待に応える十分な機会を用意しているといえる。しかし、アンケート結果を総合的にみたとときに、「どちらともいえない」という中間的な答えが多く、逆にダブルスクールに通うなど目的をもち行動に移している学生の満足度は低かった。このことから学生自身の学問に対する目的意識が低く、現状に甘んじ、より高いレベルを求めようとしていない学生にとって逆に満足度が高い

という皮肉な結果が見られる。

以上のことより、現在の大学が学生にとって主体的な、知的追及の場であるというよりも、社会的適予の場、つまり将来のビジョンについて模索するところという学生意識が今回の調査でより明確になったように思う。

父母学歴の度数分布

昭和四十年から四十五年の男性の大学進学率が約二〇％～三〇％であったといふことを考えると、本学における学生の父親の六八・一％が大学または大学院を卒業していることがわかる。これに対して、母親は四割弱を高卒が占め、残りを短大・高専卒と大学卒とがほぼ分け合つという形になっている。



緒方貞子氏記念講演会

～同志社大学名誉学位贈呈式～

四月二十日、同志社大学名誉学位贈呈式が今出川校地、栄光館で行われ、緒方貞子氏に八田英一学長から名誉文化博士号が授与された。贈呈式



には、本学学生をはじめ千二百人近くの聴衆が参列。国連難民高等弁務官を約十年務めた緒方氏の功績と国際時代にふさわしい学識を讃えた。

続いて、アメリカ研究科創設十周年記念・アメリカ研究所共催講演会として緒方氏による「難民保護の十年と将来展望」という題目での講演が行われた。緒方氏は日本女性初の国連公使、上智大学教授を経て、一九九一年から国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）で国連難民高等弁務官として約十年間難民問題に取り組んできた。緒方氏は講演で「二十世紀を強いられた人間の移動の世紀」とであると語り、難民救済への国際社会の取り組みの必要性を強調した。ソマリア、旧ユーゴスラビア、ルワンダなど、国家間紛争から浮上してきた難民問題を具体的に解説。民族間対立という人類が直面す

る新たな課題を明らかにしつつ、政治的理由から難民化を余儀なくされた人々の人権を国際主義の立場から庇護し、早期に帰国できる環境を整備する必要性を説いた。かつて難民の流出国であったロシアでさえ、ソビエト連邦の崩壊後は、連邦構成諸国の中でロシア人の少数民族化が進んだため、難民化を危惧して、UNHCRに協力を要請してきているほど、難民問題は世界的規模で拡大しているのだという。

しかし、緒方氏は従事したUNHCRでの経験から、この問題が容易に対処できるものではないと指摘する。民族問題、さらに宗教問題をはらんで複雑化する政治情勢下での庇護活動が、いかに困難なものであるかを自身の体験をまじえて紹介しながら、国連平和維持軍やNGOをはじめさまざまな国際的パートナーシップがいかに大切であったかを強調。結果、緒方氏が就任した一九九一年に千七百万人いた難民は、一九九六年に二千六百万人にまで拡大するが、退任した一九九九年には二千二百万人にまで減少したとして、二十世紀が強いられる人間の移動の世紀であるならば、一九九〇年代は、難民問題解決への道筋ができた時代であると結んだ。国際社会は、難民問題が解決可能な問題であることを知った。

次なる課題は、緒方氏らが拓いたの道筋にしたがい、国際社会全体が協力して難民セ



④ プログラム

「スノー・アドベンチャー」@
信州セルフ・ディスカバリー

①「マット」プログラムの第三弾、スノーアドベンチャー@信州セルフ・ディスカバリー」が三月九〜十二日、民間の冒險教育機関アウトワード・バウンド・スクール(OBS)の協力を得て、長野県北安曇郡小谷村で実施された。

②「プログラムは、先生」「仲間」「体験」をキーワードに学生課が実施する課外プログラム。今回は、夏の、四万十川「無人島」とは趣きを変え、その名とおり「チャレンジ」とチーム活動を通じて自分の中にある可能性への「気づき」という点に狙いを絞った内容となった。八十年前に英国で産声をあげたOBSの特徴は、社会へ出る準備段階に、自然の中での体験を通じて自分を知り、自分がどうありたいかという意志を持ち、そのことを社会の中で実現していく力を養うことにある。

プログラム中には、山スキーによるラッセル・トレーニング、重荷を担ぎ参加者だけで判断・行動する雪山遠征、マイナス二十五度という極寒の中、自



分速で掘った雪洞で寝る雪洞泊、正真正銘のバックカントリーでの滑降、そして6kmのクロスカントリー・スキーなど、盛りだくさんの「チャレンジ」が組み込まれていた。

参加者は冬山の経験などない学生ばかり。レジャー感覚で来た者も、チャレンジを続けるうちに、自分を試す場というトーンが自然にできあがり、真摯に学ぼうとする姿勢に変化し、自分の気持ちを素直にぶつけるようになっていった。声を拾ってみる。

「個人ではできない体験ができた。一つの事にこんな夢中になつたのは久しぶり。満足感と達成感で自分に自信がついた。学年を越えたいすばらしい出会いがあった(文二女)、みんなの優しさに触れ、自分は人に優しく接しているかと常に考えていた。逆にみんなの「楽しかった」という言葉が印象に残り、自分のネガティブ思考を痛感させられた(法四女)、様々な場面でリーダー格を演じてきた自分だったが、それが本当に正しかったのか疑問に思うようになった。厳しい状況の中で利己的に陥る自分がいたり相変わらずお世話かいた自分(文二男)、弱い部分がたくさん出て口ばかり煩い自分。一人では生きていけないこと、苦しさの中の感動、みんながいるから生きていられた(文二女) 大学生活は社会に出るまでの準備段階にあたる。「経験」を通じて気づきは、日常の様々な局面で得られるはず

のものである。しかし、自分を知り、自分の意思を明確にする必要のあるこの時期、全力でチャレンジし、自らの可能性を試す場を意図的に作り出す意義は決して少なくない。参加者は確実に「何かをつかんだようだった。

商学部太田ゼミ生 が懸賞論文で受賞

商学部太田進一ゼミの学生が学外の懸賞論文に応募し、それぞれ佳作、準賞を受賞した。

NTT主催「日本電気通信普及財団賞」の懸賞論文では、安藤さん、美淋さん、東さん、藤田君、馬場君、福田君の六人のグループによる、「iモードを中心にしたビジネスの可能性」というテーマの論文での佳作入賞。メンバーの中には体育会硬式野球部やラグビー部で活躍する学生もあり、みごとに文武両道を実現した。

商工中金主催「財団法人商工総合研究所」の中小企業懸賞論文では、末次君、末永さん、住岡さん、高橋さん、田中君の五人による、「地域活性化に果たす地域金融機関の役割」というテーマの論文で準賞を獲得、入賞作六本のうち



ち、学生による入賞は本学と慶應義塾大学、明治大学のみで残りには社会人によるものだった。情報化事業による高齢者の取り込みの仮説の下に西新道錦会商店街のインタビュー調査など地道な活動が評価された。



ゼミ担当の太田進一教授は、三年次の夏休み期間にグループで研究室に何回か集まって討論し、論文を書き直してくれました。その努力の成果が実つたと喜んでいきます」と語りってくれた。

「京都音楽祭二〇〇〇」 「コンクール優勝に輝く Magnets U's CD発売！」

京都のまちの活性化をめざすNPO「プラスワンネットワーク」が昨年主催した「京都音楽祭二〇〇〇」のコンクール優勝グループ「Magnets U's」(マグネツ)のCDが二度発売された。

マグネッツは、一九九八年、当時軽音楽部に所属した山本茂彦さん（一年文学部文化学科文化史学専攻卒業）と芝崎文子さんと文学研究科英文学専攻博士課程前期（一年次生）が結成したオリジナルユニット。

この音楽祭のコンクールの審査は、全国でも知らしくインターネット投票で行われ、約三百組あった応募の中から約五五 票を獲得したマグネッツが見事グランプリに輝いた。コンクールを知ったのが、応募締め切りの前日でした。あわてて音ネタとプロフィールを準備し、滑り込みでエントリーしたマグネッツと応募のいきさつを振り返る。

マグネッツの名前の由来には、観衆を磁石のように惹きつける音づくりをめざす二人の願いが込められている。音づくりは変わっていて、例えば、海がキラキラ輝くイメージで、とウォーカーの芝崎さんが発案し、このイメージで芝崎さんが詩をつくり、一方千ポード担当の山本さんが千ポードと「ソング」で曲想をつくる。互いのドラフトが出来たところで持ち寄りしてすり合わせ、芝崎さんが詩にメロディーをつける。こ



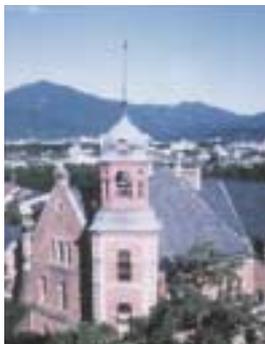
うしてで上がる音楽は、ポプスにジャズやボサノバソウルのセンスを取り入れた、無国籍風。クラブでの演奏ではさらに芝崎さんのダンスや映像ユニットが加わり、五感で楽しめるパフォーマンスを繰り広げている。

ホームページURL

<http://magnetsu.hoops.ne.jp/>

CDは生協及び京都のレコード店で発売中。

クラーク記念館 応急改修工事



同志社大学のシンボルであり、また国の重要文化財であるクラーク記念館は一九九四年一月三十日に閉館して以来、全面的な改修工事がなされていない。

一九九五年の阪神大震災の際、屋根の飾り石が落下するなど内部・外壁とも傷みが激しい状態にあるので、授業での使用を中止し、現在は文化庁による平成十六年に実施予定の全面改修工事が待たれている。

しかし、この度、X線などを駆使して全館調査した結果、応急修理をす

れば全面改修工事までの間、教室利用が可能であることが分かった。工事情間は本年四月中旬から九月下旬を予定しているが、工事完了後は秋学期からの授業に使用する予定である。

フットシムンキャンプ開催

フットシムンキャンプが同志社大学オリエンテーション委員会の主催により、四月二十八日から二泊二日で、同志社びわこリトリートセンターを会場に開催された。このキャンプは、新入生が同級生・上級生、教職員との触れ合い、語り合いを通して、大学生活を有意義にするためのきっかけを掴んで欲しいという願いのもと企画され、今年から始められたものである。

募集定員一〇〇人に対して応募者は二四四人で、最終的には九三人の参加者となり、教職員スタッフと在学生スタッフを合わせると総勢二二三人のキャンプとなった。

一日目は、学生部長の開会の挨拶で幕を開け、出会いのためのオリエンテーションでは共に考え、笑い、そして汗をかき、語り合いの時間ではスタッフの助言のもと、大学生活への想いや疑問、質問にお互いに耳を傾け語り合った。

翌朝には早天礼拝が行われ、朝日の差し込む礼拝堂で厳かなひとときを持つことができた。午前中には、選択でハイキングとソフトボール大会が行



われ、いずれの企画も親交を深める場となった。

さらに、前日に引き続き語りの時間、「新島襄」のビデオ鑑賞が行われ、オリエンテーション委員長の挨拶ですべてのプログラムが無事終了した。新入生からは、「大学では表面的な友人しかつくりにくいので、宿泊をすることでお互いの関係を深めあうことができて良かった」、新入生や先生、在学生スタッフと語り合うことで大学生活に對して感じていた不安が解消できた、「普段は教壇が遠くて接する機会が少ない先生と身近に話せて良かったなどの感想や、さらには、来年は在学生スタッフとして参加してみたい」という意見も聞かれ、これからの大学生活をより豊かに送ってもらうことが十分期待できるキャンプであった。

退職教員紹介

安枝英神 法学部教授は、三月二十七日にお亡くなりになりました。

社会事象の多面性を 大切に

「トリアッドは真横から見れば二等辺三角形、上空から見れば正方形である。二等辺三角形と正方形、この二つの見え方についていずれか一つが正しいなどと考えたり、一方の見え方に固執して他方の見え方を否定したりする人はいない。なぜなら、トリアッドの形状の実体が正四角錐であることを私たちは知っており、一見したところ互いに矛盾する二つの見え方のいずれもが正四角錐という実体ゆえに現象する個々の側面にすぎないことを理解しているからである。」

ところが、これが社会事象となると、ことはそう簡単ではない。矛盾する複数の見え方（見方のうち、一つの見え方に関心を集中し、それがその社会的実体の本質であると主張し、これと矛盾する他の見え方を無視あるいは批判する、という）ことが広く起きる。ある社会的実体を、かたや三角形だと主張し、かたや正方形だと主張するようなものである。そのいずれの見え方も実体の重要な一面を表しているのに、その一面のみから実態を論じ、他の側面を誤った認識として捨象すれば、社会事象の認識において正四角錐という豊かな実体に至ることは難しい。三角形であり、正方形でもあることを受け入れることから、一見矛盾する多面性を合理的に説明する正

四角錐という認識に至ることができぬ。

むしろ、さまざまな捉え方のうちには、実体を誤って把握している場合もある。その場合は、その見え方は否定される必要がある。トリアッドの形状を円形と主張する議論であれば、その見方を否定する手続きが有効なことは自明である。しかし、社会事象の場合には「トリアッドは円形」に類する主張の真偽はそれほど自明ではない。社会事象はトリアッドの形状よりはるかに複雑、多面的であり、しかも真偽の検証が可能なケースは少ない。ここが社会事象の難しいところである。真偽の検証が自然事象ほど容易でないということ、否定されるべき認識が容易に生き残ることを意味するばかりか、本当は否定したり捨象してはならない側面が簡単に否定されたり批判される、というところである。

一例を挙げれば、日本の経営は人間尊重の経営だという主張と長時間労働などに見られることく労働強制的で非人間的だという主張は、互いに矛盾する認識として長く併存し、互いに他方の主張を否定してきたという具合である。そのいずれの側面もが日本の経営の否定しがたい事実の一面であるならば、その矛盾するいずれをも生み出す実体こそが認識されねばならない。その実体認識

には、一見矛盾する多面的側面を認めるところから接近する以外に方法はない。

社会事象の本来の豊かな実体を認識するには、事実の一面を表していると思われる事柄についてはそれが互いに矛盾する場合でも捨象せず大切に、矛盾する見え方を納得させる実体があるかもしれないと考える柔軟性が大切だと考えるのである。

すずき よしじ
鈴木 良始 Yoshiji Suzuki

【商学部教授】

1950年愛知県生まれ。北海道大学大学院経済学研究科博士後期課程単位取得退学。博士（経済学）。北海道大学大学院経済学研究科教授を経て、2000年同志社大学に入社。専門は生産システム論、比較企業論。著書に『日本の生産システムと企業社会』、訳書に『トヨタの米国工場経営』など。



音読のすすめ

白ヒゲ先生 子、のたまわく……

シンちゃん シ、ノタマわ〜あ〜っ。

白 ころ、あくびするな。わしが読んだ通りに後についてちゃんと声を出して読みなさい。

シン すみません先生、でも、朝五時からこんなことして……死にそうす。勘弁してくださいよ。眠いんです。大変なところ、下宿しちゃったな。安いと思って飛びついたら、いれなんだ。それに、こんな朝早く先生みたいに大きな声で音読したら、近所迷惑になりませんか。

白 わしの子どもの頃は、みんな、寺子屋で素読をしたものじゃ。

シン 先生は、一体、いつの時代の人なんですか。今は二十一世紀ですよ。

白 意味が分かってても分からなくても、何度も何度も繰り返し、先生の後について大きな声を出して素読をした。それで、読むことを習う。漢字を覚えたのじゃ。なに、意味などは分からなくてもよろしい。読書百遍、その意おのずから通ずるとしてな、何度も大きな声で読んでいけば、不思議と意味は分かってくるものじゃ。それで本物の教養も付く。あの頃が懐かしいのう。漢文だけではない、いろいろな文章や詩歌もそらんじたものだ。

シン 先生、その話はもう何度も聞いておりますが。

白 音読は頭のためだけでなく、心

身全体によろしい。呼吸に合わせて、言葉を

唱えれば、言葉が身体に染み込み、身体を包んで、精神を活気づけるのじゃ。どんな宗教でも、大きな声で経典を読むのが慣わしじゃ。きわめて有効な宗教的行為なのじゃよ。お寺では、お経を読む。イスラム教の経典であるコーランの名は、声を出して読むための書物という意味だ。キリスト教でも、カトリックや正

教会の方は声を出すことを大事にしてある。プロテスタントの方で声を出すのは讃美歌くらいか。これでは知性の域を出ず、精神的な深みが出んな。言葉の力、言葉(ことば)は声に宿るのじゃからの。

シン ですから先生、その話はもう何度も聞かせてもらってます。音読は、外国語の習得にも有効だとおっしゃるのでしょっつ。

白 その通りじゃ。同時通訳の神様と呼ばれる英語の達人、國広正雄氏が、中学時代に英文を大声で繰り返し読んだのは有名な話じゃ。わしが三十カ国あまりの言葉に通じてあるのも、この方法のお蔭じゃ。わしははまっつ、音読は語学習得の王道じゃよ。

シン (疑いの眼差しで)本当ですか？

白 熟読も黙読ではだめだ。お腹から声を大きく出して繰り返し読んでこそ、読みは熟してくるのじゃ。熟読という言葉も、昨今、死語になりにつつあるのう。なあ、シンよ、このシン……



いしかわ
石川 立

Ritsu Ishikawa

【神学部助教授】

1953年愛知県生まれ。東京大学文学部卒。西ドイツ・テュービンゲン大学で学んだ後、同志社大学大学院神学研究科博士課程前期課程修了。日本基督教団倉敷教会副牧師を経て、ドイツ・ミュンヘン大学にて神学博士号取得。1996年同志社大学神学部に入社。聖書を中心としたキリスト教世界における言葉の力を研究テーマとする。

「じへりし始めているではないか。ころー眼るなーわしの後について声を出して読みなさい。」
シン むにやむにや。わたしは熟読より、熟睡が好きです……先生、おやすみなさい……むにやむにや。

VIDEO

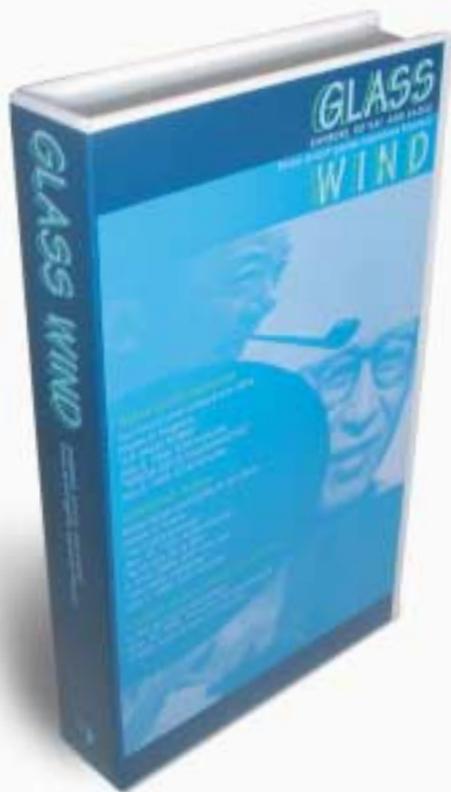
本学教員の推薦する > >

田口哲也

【言語文化教育研究センター教授】

「ガラスの風」

—ビデオで見る日本のアヴァンギャルド—



二〇世紀終盤の思想界に大きな影響を与えたフレドリック・ジェイムソン(アメリカの学者・批評家)の一九九二年に出版された映像批評は、「シニアルなものは本質的にポルノグラフィックである」という言葉で始まっている。

つまり、映像とは見る者の頭を興奮で空白にさせ、目の前に提示される連続したイメージの虜にさせ、そしてそこに比類のない快感を現出させることを究極の目的にしている。

ちやうど固い書き出しになうたが、紆余曲折を経て現代文明のたどり着いたところが、このような、変幻自在とは言え、ちたひつこの視覚という感覚であったのは皮肉である。物語にせよ、トレンディー・ドラマ、音楽にせよ(MTV)、スポーツにせよ(桜庭和志)、私たちはこのシニアルなものを日々消費し、その経験を蓄積することによって「現代」を生きているのである。

だとするならば、この際、この捻じ曲がった私たちの運命を最も極端な地平にまで押し出すすような映像をひたすら推薦させてもらいた。

ハリウッドのサンセット・ブルバードにあるhighmoon社(highmoon.com)から出ているGlass Windがそれである。

このビデオには、世界から注目される三人の日本のアヴァンギャルド芸術家の作品が収められている。シニアルリスト写真家の山本惇右(一九二四―八七の現存する唯一の8mmフィルム)のラブを主宰した北園完寛(一九〇二―七八)の珍しい映像作品、それに伝説の舞踏家、大野一雄(一九〇六―)の一九九三年のアメリカ公演の様である。モックロ・サイレントなので、シニアルな映像でボケた視覚にはかえって新鮮に映るのが不思議だ。山本惇右について言う、この「ヒュウシヨ」されなかつた偉大なアーティストの大規模な展覧会が八月二十二日から東京会「シニアルギャラリー」で開かれる。ガラスの風はともケイルだ、プロデューサーはジョン・ソルト、カバーデザインは鬼才、山口謙一。約四十一分、四、五〇〇円/\$30。取り扱いは京都ジュンク堂外商部(担当:椿氏)他。

『ガラスの風』

1998年 アメリカ
プロデューサー:ジョン・ソルト 出演:大野一雄 ほか
発売元:highmoonoon
価格:4,500円(税別)/\$30

本学教員の新刊

(総合情報センター調べ)

現代の会計学 第二版

加藤盛弘 著 三、六〇〇円
森山書店

日本の会社法 新訂第四版

森田章 川口恭弘 ほか著 三、四〇〇円
商事法務研究会

現代の金融機関と法

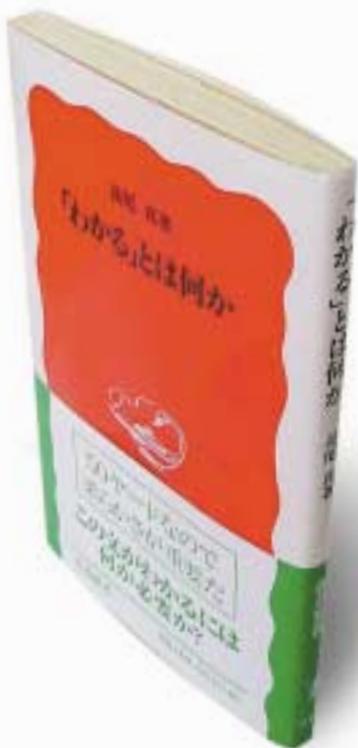
川口恭弘 著 中央経済社 三、二〇〇円

理工学のための応用解析学1

堀内龍太郎 水島一郎 ほか著 三、二〇〇円
朝倉書店

「わかる」とは何か

— 科学的説明と社会的受容 —



『「わかる」とは何か』

2001年 長尾 真著
発売元：岩波書店
価格：700円(税別)

突然だが、次の質問を出されたらどうどのよう
に答えるだろうか。
(質問) 今わかっているもののなかから1つを
選択し、それについて説明してください。
さて、説明されたことは社会の「と、恋人のこ
と、それとも自分のことだろうか。」
情報科学の研究者である本書の著者は、科
学・技術について説明する。しかし、本書は科
学・技術に関する高度な知識を必要としない
むしろ必要なことは、私たちが著しく進歩す
る科学・技術をどのように理解し、どのよう
に感じているかというところである。SF映画はコ
ンピュータに支配された人間の世界を描きク
ローム技術はその進むべき道の選択に迫られ
ている。果たして、私たちは現代の科学・技術
の何を畏れているのだろうか。
科学者たちはさまざまな事象を分析・解明
(アナライズ)して、その事象を科学的に説明す
る。したがって、科学的説明とは何のようなの
か、そしてその根拠は「何」であるかを知るこ
とは重要である。著者はこれらを説明したつ
いで、科学的説明に用いられる言葉がいかにあ

いまいかという点に言及する。言葉はさまざま
な意味をもっており、使われた状況に応じて違
うものを意味するからである。聞き手はその
言葉の意味を正確に選択してこそ、科学的説
明を理解できる。しかし、この段階ではまた説
明された事象を自分の知識、経験そして感覚
的に理解できていない。それでもなお、わか
たといえるのだろうか。
合成・創造・シミュレーションの世界に入りつつあ
る現代の科学・技術のもつては、これまで地球
上に存在しなかった物質などを作り出し、後に
それを回収する事態まで生じている。たとえ
ば、DNAカスなどである。今一度、科学・技術
のあり方を見直すためにも、科学的説明とそ
の理解について知っておくことは大事である。
本書はそのための一助になると思われる。
ところで、本書の内容は科学・技術にかぎ
た話ではないだろう。本書を読んだあとのため
に、もうひとつの質問を出しておこう。
(質問) 冒頭の質問において答えた事柄につ
いて、本当にわかっていますか？

- 理工学のための応用解析学 2
堀内龍太郎 水島二郎 ほか著
朝倉書店 三、二〇〇円
- 理工学のための応用解析学 3
堀内龍太郎 水島二郎 ほか著
朝倉書店 三、二〇〇円
- 同志社大学人文科学研究所
研究叢書 34
グローバル市場経済化の諸相
平勝廣 編 嶋田巧 小野塚佳光
服部民夫 執筆 三、八〇〇円
- 55年体制下の政治と経済
西澤由隆 著

モラトリアムを卒業し、
今は仕事で得られる
充実感を噛みしめる。

友人たちが、社会への門出を準備している頃、私は何かやり残しているのでは、という思いにかられて休学し、イギリスへ旅立ちました。障害者学校で障害者の補助をしながら生計を立てて過ごしたこの十月月は、今振り返ると私にとって社会に出る格好の準備期間になったように思います。

卒業後は、郷里にもどり東邦ガスに就職。最初の四年間は、支社で営業の仕事に従事しました。ガスの営業というと、公共性の高い業種だから比較的のんびりやっているのだらうと想像されるかもしれませんが、営業の第一線では他のエネルギーと熾烈な販売競争を行っています。とくに近年は一連の規制緩和で、大口需要家向けの販売は自由化が進み、地域や業種を超えた大競争時代を迎えているのです。そんな中、会社はまだ経験の浅い私たちにもどんどん責任のある仕



事を任せてくれました。自分で決断し、自分で行動するのは辛い反面、やり甲斐があります。歯を食いしばって頑張り、お客様に感謝されたときは、本当にうれしいものです。

五年目から本社の人事部に移り、新入社員研修を担当しました。主に社会人としての基本を学んでもらうわけですが、彼らとのやりとりの中で今も覚えていることがあります。それは、何のために働くのか、というテーマで話し合ったことです。家族のため、お金のため、あるいは社会のため、とさまざまな答えが返ってきましたが、議論を深めていくと結局はすべて自分の幸せにつながるものが分かりました。仕事、それは誰のためでもなく自分のための営みなのです。

人事部で四年間を過ごした後、営業計画部へ移りました。営業組織の業績評価や、営業拠点のあり方、業務処理の適正化を検討するのが主な仕事です。希望していた部署なので、はりきっていたところ、最初の大きな仕事として立ちほだかたのが、昨年九月の東海大豪雨でした。集中豪雨は、愛知県内だけで約七万八千棟が浸水し、都市機能を一週間にわたって麻痺させました。私も対策本部の一人として連日徹夜で情報の収集にあたりましたが、被害は予想をはるかに超えるも

のであり、復旧に一週間近くも要しました。情報収集にあたりながら、私たちの仕事がライブラインの中核を担う大切なものだということを改めて思い知らされた次第です。

就職ブルーという言葉があるように、学生生活を終えて社会人になると、誰しも憂鬱な気分になるものようです。サークル活動や学生にしかできない貧乏海外旅行など、自由な生活を謳歌してきた私も多分に漏れずブルーな気分になりました。しかし、実際に社会人になってみると、辛いことも多い代わりに喜びも多く、自分次第で自由な時間を捻出することもそんなに無理なことではないことが後輩の皆さんにも分かると思います。就職するとなかなか出かけられないといわれる海外旅行にも、私の場合は機会をとらえて出かけています。仕事にもプライベートにも、短期的な目標を立て、自己管理を行えば、けっこう思い通りの生活を実現できるのが実社会だと思えます。



横地 修さん

【1992年商学部卒業】

東邦瓦斯株式会社 営業計画部勤務

PROFILE

横地さんは学生時代、人力俵友の会に所属。先輩たちが東海道五十三次を人力車を引いて旅したことがあると聞き、「それなら僕たちも…」と三年次に挑戦。早稲田大学、明治大学の人力車サークルにも声を掛け、横地さんたちは東京日本橋から、早稲田、明治は京都の三条大橋からそれぞれ出発。無事五十三次の完走を果たしたそうだ。「思っていたら行動する、そういうタイプなのです」と語る横地さんは、思い出がいっぱい詰まった学生時代を過ごされたようだ。



第12回

が仕事を通して見た「社会」とは？
この意義とは？

先輩の声に耳を傾けながら、
生生活の現実を考える機会にしたいものです。

シリーズ 私と「仕事」

『ONE PURPOSE』では、さまざまな分野で活躍する先輩を訪ね、毎号「私と仕事」をテーマにお話を伺っていきます。

就職難の時代に
社会へ飛び出したから、
一人倍、仕事を大切に思う。

私の学生時代は、これといった体験がないまま、ごく平穩に過ぎ去るつもりでいました。四年次になって就職活動を始めると、そんな平凡な学生生活が一変しました。確かに前年から就職戦線は急速に厳しくなっていました。しかし、まさか自分の身に降りかかってくることは思いもせず、好きな映画に關わる仕事がしたいという気持ちだけで就職活動に入ったのです。ところが、何社も訪問しても色よい返事はもらえず、失敗するたびに、何だか人格まで否定されたような気分になり、世間知らずだった自分を悔いました。民間企業への就職はできないのかなあ」と覚悟を決めていたところ、就職部で求人票を見つけたのが現在の会社です。就職が決まったのは卒業を目前に控えた三月のことでした。

会社は、チャート式参考書でご存知の方も多い教育図書専門の出版社です。仕事は高

社会へ出てかれこれ？年。先輩たちあるいは「生きる」歩んだ道も経験もそれぞれ違将来の自分にふさわしいキャリア・プランと学

校生向けの英語の教材の編集で、これまでは主に長文読解の問題集を中心に担当してきました。

年間計画に基づいて何冊かの編集を手がけますが、締め切りが近づくにつれて忙しい日々が続きます。編集業務のほかにも、もうひとつ大切な仕事があります。企画です。私の場合、先輩が企画したワットシリーズを引き継いでいるので、大きな企画の醍醐味をまだ知らないのですが、毎年五月、六月になると営業部門の人と同行して学校を回ります。そして現場の先生方の意見を伺います。生徒たちがどんな感想で使っているかも、先生のお話から推察します。教材の採用を決めるのは学校ですが、使うのは生徒たちですから、その思いを大切にしたいからです。こうして収集した意見を踏まえ、来年の編集方針を決定します。これだけでも大変なのですが、またたく新しいシリーズを立ち上げるとなると企画立案にかかると時間はもちろん、失敗のリスクなど、精神的重圧もかなりのものになります。似た経験としてセミナー試験用の問題集を企画しましたが、何もないとこからものを創り出すということがいかに大変なことを思い知らされました。最近の英語教育の傾向や現場



橋本 留美さん
【1994年文学部英文学科卒業】
数研出版株式会社 関西本社 第二編集部 係長

PROFILE

「高校の英語教育も、私たちの頃比べると随分変わってきています」と橋本さんは語る。数学力の低下が叫ばれるが、一方英語においても筆記体のアルファベットが書けない生徒が出現しはじめていたのだそう。さらに英会話力の不足への反省から、文法用語も教科書から姿を消しつつあるという。「コミュニケーション力を重視するのは賛成です。文法は知っているけど、書けない、話せないという過去の英語教育には問題がありました。でも…」筆記体で英語が書けない生徒の存在には、教育産業に従事する者として少なからず衝撃を受けているようだ。

の先生方の意向など、さまざまな角度から編集者の見識が問われるからです。

会社に入ってから七年が経ち、一昨年から私も部下ができました。とても優秀な部下で、自分の新人社員の時を重ね合わせながら、その熱心な仕事ぶりを見ていると何だか胸に込み上げるものがありました。彼女もまた私と同じように厳しい就職戦線を体験してきたでしょう。だから、仕事を大切にしたい、採用してくれた会社のために頑張りたい、そんな思いが伝わってくるのです。

私の場合、学生時代にサークル活動でもと交友関係を深めたり、いろいろなことに挑戦すべきだったのかもしれない。そう思うのは、就職活動を有利に運ぶためというのではなく、社会についてもう少し知っておくべきだったと反省しているからです。先輩の皆さんには、ぜひ有意義な学生生活を送って欲しいと願うとともに、課外活動でもアルバイトでもいいから社会との接点を大切にして欲しいと思います。

ANNOUNCEMENT

第10回同志社新島基金 アーモスト大学派遣留学生募集

学校法人同志社は、創立100周年記念事業寄付金の一部をもって設立した新島基金により、米国アーモスト大学へ留学生を派遣する制度を設けています。この制度により、奨学金として学費相当額が2年間にわたって支給されます。

1. 応募資格

2001年4月1日現在25歳以下で、同志社大学又は同志社女子大学の3年次、4年次、大学院博士課程(前期課程)の在籍生及び同志社教員。ただし、過去に同志社から奨学金を得て留学したことのある者は除く。

TOEFL Paper-Based Total 570点以上

Computer-Based Total 230点以上

(アーモスト大学入学までに、Computer-Based Total 250点以上取得することが望ましい)

2. 留学期間 2002年9月から2年間

3. 人数 1人

4. 受付期間 2001年6月1日(金)~23日(土)

5. 選考日 7月下旬(予定)

6. 書類請求及びお問い合わせ先

法人部法人事務部文書課 (tel:075-251-3006)

WWWブラウザを使用して電子メールが 利用できるWebmailシステムのサービス開始



このサービスを利用すると、インターネットに接続されている機器(パソコン)とWWWブラウザがあれば学内・学外問わずメール確認を行うことができます。また、この4月から携帯電話からのメール送受信も利用可能となっています(一部利用できない機種があります)。

なお、操作手順についてはオンラインヘルプまたはユーザーズマニュアルを参照してください。

<http://webmail.doshisha.ac.jp/>

D.D.mugmag vol.2が完成



本学の学生生活を全国の高校生などに紹介するCD-ROM「D.D.mugmag」の第2弾が出来上がりました。昨年同志社大学が創立125年を迎えたことを記念して125人の学生の生の声を紹介しています。その他にも同志社カルトクイズや京都のカフェめぐり、キャンパスカレンダーなども収録して盛りだくさんの内容となっています。ぜひ見てみたいと思った人は、広報課までご連絡下さい。

プール学内一般開放のお知らせ

大学のプール(京田辺校地・屋外)を下記の期間一般開放しますので、ご利用下さい。

【期 間】 2001年8月1日(水)~31日(金)

但し、8月13日から17日及び土・日曜日を除く

【時 間】 13:00~16:00

【料 金】 1人1回300円

【対 象】 同志社諸学校の学生・生徒及び教職員(家族を含む)

学生証を必ず持参して下さい。

お便りをお待ちしています

『ONE PURPOSE』は、学生のみなさんと大学とのコミュニケーションをはかることを目的として発行しています。本誌に関するご意見や企画のご提案、日頃学生生活を送っている中で気づいたことや疑問に思うこと、また悩んでいることなど、ささいなことでも結構ですので、どしどし広報課までお寄せください。

ONE PURPOSE

<ワンパーパス>

同志社大学通信127号

2001年6月1日(4・6・10・12月年4回)発行

発行 同志社大学 広報課

〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入

TEL. 075-251-3120 FAX.075-251-3080

E-mail ji-koho@mail.doshisha.ac.jp